



ヒューマンウェア
シンポジウム 2024

分野をつなぎ、社会を築く研究へ

——— 社会が求める融合研究とは? ———

第1部 パネルディスカッション

社会と研究をどう繋ぐ?

最先端を走る大学／企業の研究者から学ぼう

第2部 融合研究アイデアソン

多様な背景や知識を融合し研究アイデアを生み出そう

優れたアイデアは表彰があります

第3部 ポスターセッション

融合研究ってどんなもの?

実際に行われている研究を知ろう

第4部 交流会

普段会えない人となつなかりを作ろう

おやつと飲み物を**無料**で提供します

参加費

無料

開催日

12/6

10:00~17:00

会場

豊中キャンパス

大阪大学会館

アセンブリーホール

申込方法

人数の把握のため

QRコードから

必ず参加登録を

お願いします

締切:11/22(金)



ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム (HWIP) とは？

情報科学研究科・基礎工学研究科・生命機能研究科の学生が、自分たちの専門領域を超えた融合研究に取り組むプログラムです。異分野の学生との共同研究を通じて研究者としての視野を広げることを目指しています。また、**起業・海外インターンシップ支援**や**メンター制度**、**給付奨学金**などの学生支援も充実しており、研究と社会の懸け橋となる学生を育成しています。

ご興味のある方は、本シンポジウムで所属学生たちと交流しましょう！

パネルディスカッション登壇者

社会と研究をつなぐ第一線で活躍する講演者をお呼びし、本シンポジウムのテーマ「社会が求める融合研究とは？」を思索します。あなたも一緒に、社会と研究のかかわりについて考えませんか？

アカデミア研究者

大阪大学大学院基礎工学研究科教授
産業技術総合研究所クロスアポイントメントフェロー
ダイフク物流技術協働研究所所長

原田 研介 (Kensuke Harada) 氏

1997年京都大学大学院工学研究科博士後期過程修了。広島大学、産業技術総合研究所を経て2016年より現職。ロボットによる自動化に関し、多くの受託研究や共同研究を行う。IEEE, JSME, RSJのフェロー。



企業研究者(基礎研究中心)

日本電信電話(株)
NTT人間情報研究所

富永 登夢 (Tomu Tominaga) 氏

2019年、大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。同年、日本電信電話株式会社に入社。現職では、人間の心理的な性質を将来行動予測モデルや人間中心型AIに応用する研究開発に従事。博士(工学)。専門は計算社会科学とHuman-Computer Interaction。



研究者兼起業家

Fairy Devices株式会社 執行役員 CPO

関 喜史 (Yoshifumi Seki) 氏

大学院在学中に株式会社Gunosyを共同創業、主に推薦システムの研究開発やサービスのデータ分析に従事。現在はFairy Devices株式会社で執行役員CPOとしてウェアラブルデバイスを利用したプロダクト開発やデータ解析に取り組む。



企業研究者(応用研究中心)

日立製作所 研究開発グループ
生産・モノづくりイノベーションセンタ

竹田 憲生 (Norio Takeda) 氏

大阪大学で博士号(工学)を取得後、日立製作所に入社、現職は主管研究員。製品の信頼性に関する研究開発に従事。日本機械学会フェロー、日本材料学会疲労部門委員会幹事。ホームページ(けんきゅうの研究所)やSNS(@q_ponosan)で研究の楽しさを発信中。



タイムテーブル

- 09:30 開場&受付
- 10:10 パネルディスカッション
- 11:40 昼休憩
- 12:40 融合研究アイデアソン
- 14:20 ポスターセッション
- 15:30 交流会
- 16:45 閉会

会場案内

@大阪大学 豊中キャンパス
大阪大学会館
アセンブリーホール



お問い合わせ

ヒューマンウェアシンポジウム2024運営実行委員会

hw-sympo2024@humanware.osaka-u.ac.jp